
第 164 回松本歯科大学大学院セミナー

日 時: 2008 年 2 月 5 日(火) 18 時 00 分~19 時 30 分

場 所: 実習館 2 階総合歯科医学研究所セミナールーム

演 者: 古川 洋和 氏 (北海道医療大学大学院心理科学研究科)

タイトル: 歯科領域における認知行動療法

不安や抑うつの問題だけでなく、心身症などのさまざまな疾患に対する認知行動療法の有効性が明らかにされ、歯科領域においても舌痛症、歯科治療恐怖、顎関節症、口臭症に対する認知行動療法の効果検討が行われている。しかしながら、歯科領域における認知行動療法のエビデンスは不十分であり、介入プログラムの内容を再検討する必要性が指摘されている。

本セミナーでは、まず、歯科領域における疾患の中から特に頻繁にみられる舌痛症と歯科治療恐怖を取りあげ、これまでわが国において用いられてきた心理療法の適用に関する問題点を指摘し、認知行動療法の適用可能性と有効性に関する研究を紹介する。具体的には、北海道医療大学歯科心身症研究会による舌痛症の症状と認知的側面との関連を検討した研究成果、および歯科治療恐怖に対する認知行動療法の有効性をメタ分析によって検討した研究成果を紹介する。また、口腔内の検査では正常であるにも関わらず、口渇や疼痛を訴える患者さんの対応について、北海道医療大学病院で行われている口腔内科相談外来と心療内科・医療心理室との連携によるアプローチを紹介する。

最後に、最近、取り上げられることの多い医療従事者のメンタルヘルスの問題に関して、医療系大学に在籍する学生のメンタルヘルスの観点から、メンタルヘルスの問題が日常生活に及ぼす影響とメンタルヘルスの問題に対する認知行動療法の有用性について紹介する。

担当: 健康増進口腔科学講座 中 田 稔